

発 言 通 告 書 総 括 表

平成20年 第2回 定例会 一般質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	はやお議員 (自民)	<p>1. 安心できる介護提供体制の充実に向けて</p> <p>2. 区民の健康の確保を支援するための体制について</p>	<p>いまだかつてない高齢社会を迎える前に、高齢者が暮らし慣れた地域で療養生活を送れるような安心できる介護提供体制の強化、また在宅療養を円滑に遂行できるようなケアサービスの充実を既存の資源を最大限有効に活用しつつ工夫していく必要があるのではないか。</p> <p>区民の健康の確保を支援していくためには、特定検診を補足的に検診でき、さらに所属する保険者に依らない成人検診の周知を図ること、そして生涯にわたり加入者が健康情報を活用できるよう縦断的(個人に対して)かつ横断的(保険者同士)に検診結果を把握できるような支援体制が今後必要と思われる本区の基本的な考え方を問う。</p>	区長並びに関係理事者
2	大串議員 (公明)	<p>1. 今、必要なコミュニティ政策について</p> <p>2. 文化芸術政策はいかにあるべきか</p>	<p>区の目指す地域コミュニティのあり方とは、地域コミュニティの現状と課題は何か。区民による(仮)千代田区地域コミュニティ指針の策定を提案する、所見は。</p> <p>文化芸術基本条例策定から4年が経過した。条例に謳われた理念はどこまで実現できたのか。文化芸術振興プランは来年度でその期間を終了する。今日までの評価とプラン改定の方法を問う。</p> <p>首長部局に文化スポーツ課が移って6年が経過した。改めて文化担当課の役割を問う。</p>	区長並びに関係理事者
3	小枝議員 (声2)	受難の皇居について	<p>首都東京の存続と発展のために文化と経済のバランスが極めて重要である。近世都市江戸城外堀の内側から既にそのバランスが失われていないか。</p> <p>東京駅と皇居の間に位置する大手町・丸の内・有楽町地区再開発の前提は首都機能移転後のランドデザインであった。千代田区に矛盾はないか。</p> <p>21世紀に入り、当該地区の規制緩和は「丸の内」経済学～この街が21世紀の東京を牽引する～三菱地所社長(当時)のシナリオどおりになされてきた。高さ制限のない地区計画と300%の容積アップなど公共性、公平性に問題はないか。</p> <p>2003年9月、宮内庁から千代田区に提出された「皇居周辺における超高層ビル等建築に関する基本的要望事項」について</p> <p>その他、1998年千代田区都市計画審議会における5項目の留意事項、企業モラルのあり方等</p>	区長並びに関係理事者
4	寺沢議員 (声)	千代田図書館について	<p>行政との関係 利用者のモニタリングは 収蔵庫(バックヤード)の狭さをどうカバーしていくのか 防災対策はどのようにとられているのか</p>	区長及び理事者

	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
5	林議員 (自民)	家庭用生ごみ処理機について 環境教育について 「カラスの巣」などの除去対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭用生ごみ処理機購入助成」制度の趣旨について ・補助金交付を個人だけでなく集合住宅にも対象を拡大した方が制度普及になるのでは…。 ・ゴミ減量の成果をどのように検証していくのか？ ・区民館にモデルとして「生ごみ処理機」を設置すると意識が高まるのでは？ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもからお年寄りまで、環境意識を向上させるには具体的にどんな手法があるのか？ ・85万人の昼間区民に対して環境教育とは？ <ul style="list-style-type: none"> ・樹木などにカラス・蜂などの巣に対して区はどのような対策を考えているのか？ ・東京都の駆除対策と本区との連携は？ 	区長並びに関係理事者
6	下田議員 (声2)	公共施設の整備について 特定補助団体について 公共施設民営化等の検証について	<p>施設整備検討協議会の設置と運営のあり方</p> <p>文化芸術協会との関係のあり方 予算施行方法の大巾変更についての経緯</p> <p>利用者満足度のモニタリング手法の確立によりはじめて本来の検証が可能になる。</p>	区長並びに関係理事者
7	高澤議員 (風)	高齢者介護・レスパイト事業について	「後期高齢者医療制度」(長寿医療制度)が開始され医療制度改革に伴い、在宅療養や介護が増えることに対し、今後の高齢者介護、介護者に対するケア(レスパイト事業)など本区における展開について。	区長並びに関係理事者
8	飯島議員 (共産)	1)教育費の負担軽減について 2)保育について 3)ヒブワクチンについて	<p>日本は子育て関連費の公費投入が先進国の中でも最低レベル。「子どもは社会の宝」の視点で子育て支援充実をもとめる。</p> <p>子育て世代にとって教育費の負担は大きい。所得格差拡大の中で、子育て低所得世帯への教育費支援が必要。 就学援助の拡充 教育資金の援助策を</p> <p>働く親にとって保育園は命綱。「待機児ゼロ」と「子どもの発達」を保障してこそ子育てと両立できる。 育児室保育料助成拡充 公立保育園の役割について など</p> <p>乳幼児が後遺症や死亡にいたることもある細菌性髄膜炎を予防するために、ヒブワクチンはすでに約110カ国で定期接種が行われ、効果も実証されている。日本でも接種の要望の声がひろがっているが、見解を問う。</p>	区長、教育長ならびに関係理事者

	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
9	木村議員 (共産)	(1)医療・介護の負担増から住民の暮らしを支える支援策について (2)都市再生	療養病床に入院、あるいは介護保険施設に入所している高令者の居住費・食費に助成を 入院時負担軽減制度を(i)対象年令の引き下げと(ii)介護型の療養病床に入院している方も対象に、の2点で拡充を 「都市再生」の名ですすめられた大規模開発は、住民の暮らし、景観と環境、まちづくりの民主主義という点で大きな影響をもたらした。住宅基本条例がかかげる「すべての区民が人間として尊重され、地域社会を、大規模開発からどう守っていくか、いくつかの緊急提案を行なう。	区長及び関係理事者
10	野沢議員 (民主)	1、地球温暖化対策について 2、ふるさと納税について 3、新型インフルエンザ対策について	麴町中学校改築に際し、給食室の電化厨房などオール電化校舎により更なるCO2削減を目指した施設設計に ヒートアイランド対策助成金の壁面高反射率塗装、遮熱ガラスにも助成拡大を 区の基本的な考えと具体的な取り組みは？ クレジットカードの利用代金の一部が自動的に千代田区に寄付される、ふるさと納税寄付金機能付クレジットカード「ふるさと千代田カード(仮称)」の発行を 行動計画について 区役所や保健所等における感染対策について	区長並びに関係理事者
11	小林やすお 議員 (自民)	ホタル舞う千代田について 安心・安全対策について	老若男女、全区民が参加できるイベントであり、子どもたちには自然や人とのふれあいを大切にする心の育成と生き物や命の大切さなどの学習をする観点から公園等での「ホタル鑑賞会」の実施について 犯罪から区民や子供たちを守り、容疑者の早期特定と解決を可能にする防犯カメラの設置について 今回の大惨事をうけ、犯罪抑止のためにも末広町地域安全センターの警察官OB駐在時間の延長を、東京都と警視庁に要望すべきである。	区長並びに関係理事者